

要望する教育内容について

1 概要

サイバーセキュリティに資する教育で、授業時間の50%は実践的な演習を通じて実施されるもの

2 時期

令和7年3月3日（月）～15日（土）の内6日間

3 受講人数

3名

4 教育内容

- (1) 1日目（ネットワークセキュリティとクラウドの基礎）
 - ア ネットワークセキュリティの概要
 - イ 防御ネットワークアーキテクチャ
 - ウ プロトコルとパケット解析
 - エ 仮想化とクラウドセキュリティ
 - オ ワイヤレスネットワークの保護
- (2) 2日目（多層防御）
 - ア 多層防御の概要
 - イ アイデンティティ/アクセス管理
 - ウ 認証とパスワードのセキュリティ
 - エ セキュリティフレームワーク
 - オ DLP（データ漏洩防止）
 - カ セキュリティ計画とリスクマネジメント
- (3) 3日目（脆弱性マネジメントとレスポンス）
 - ア 脆弱性評価
 - イ ペネトレーションテスト
 - ウ 攻撃と悪意あるソフトウェア
 - エ Webアプリケーションセキュリティ
 - オ セキュリティ運用とログ管理
 - カ デジタルフォレンジックとインシデントレスポンス

- (4) 4日目 (Crypt ography)
 - ア 暗号
 - イ 暗号アルゴリズムと実装
 - ウ 暗号技術の活用
 - エ ネットワークセキュリティデバイス
 - オ エンドポイントセキュリティ
- (5) 5日目 (Windows and Azure Security)
 - ア Windowsセキュリティインフラ
 - イ Windows as a Service
 - ウ Windowsアクセスコントロール
 - エ セキュリティポリシーの実装
 - オ マイクロソフトのクラウドコンピューティング
 - カ 処理の自動化、ロギング、監査
- (6) 6日目 (Linux、AWS、and Mac Security)
 - ア Linux基礎
 - イ Linuxセキュリティサービスの強化とインフラ
 - ウ コンテナ化されたセキュリティ
 - エ AWSの基礎、操作、ベストプラクティス
 - オ macOSセキュリティ

5 その他

教育終了後、G I A C security Essentials (G S E C) 認定試験の受験 (バウチャー付) を含む。